

## 服飾造形・実習Ⅱ

伊藤 佳代

高度アパレル専門科2年 通年 必修(実習・実技)

## ◆授業の方針・概要

一年次で修得した服作りの基礎を更に深め、服作りの考え方、デザインに対する素材や付属の選び方、裁断、縫製、パターン等様々な技術を習得する。視覚的美しさと用途に応じたデザイン性、機能性、着心地等も追及して造形感覚を養う。担当教員のパタンナーとしての実務経験を活かし、アパレル業界での物作りの考え方や方法も学び、技術の向上を目指します。

## ◆到達目標(学修成果)

服種のデザインから制作までを一貫して行ない、自らのデザインを具現化できるようになる。服飾造形の知識・技術の向上とデザインのオリジナルティと感性を高める。また、検定試験の資格習得も目標とする。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

テーマやデザインを検討、研究することで、確かな技術と優れた卒業制作作品へ向かうことができます。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1週	シャツ (産学連携) (パターンメイキング)	予習: 布の準備	60
2週	〃 (パターン作成～裁断)	復習: 作業の確認	60
3週	〃 (縫製)	復習: 作業の確認	60
4週	〃 (縫製・作品提出)	復習: 作業の確認	60
5週	パンツ (リサーチ・デザイン考案)	予習: 市場調査・デザイン	60
6週	〃 (パターンメイキング)	予習: 作図方法	60
7週	〃 (パターン作成～裁断)	予習: 縫製仕様書作成	60
8週	〃 (縫製)	予習: 工程分析作成	60
9週	〃 (縫製・作品提出)	復習: 作業の確認	60
10週	ワンピース (リサーチ・デザイン考案・資料作成)	予習: 市場調査・デザイン	60
11週	〃 (パターンメイキング)	予習: 作図方法	60
12週	〃 (トワル作成・修正)	予習: 縫製仕様書作成	60
13週	〃 (パターン作成～裁断)	予習: 工程分析作成	60
14週	〃 (縫製)	予習: 作業の確認	60
15週	〃 (縫製・作品提出・プレゼン発表)	予習: プレゼン準備	60
16週	ジャケット (パターンメイキング)	予習: 布の準備	60
17週	〃 (パターン作成～裁断)	復習: 作業の確認	60
18週	〃 (縫製)	復習: 作業の確認	60
19週	〃 (縫製・作品提出)	復習: 作業の確認	60
20週	修了制作(3体) (リサーチ・デザイン考案・資料作成)	予習: 市場調査・デザイン	60
21週	〃 (パターンメイキング)	予習: 布の準備	60
22週	〃 (パターンメイキング)	予習: 資料作成	60
23週	試験対策 (洋裁検定中級対策)	復習: 製図の練習	60
24週	修了制作(3体) (トワル作成・修正)	予習: 縫製仕様書作成	60
25週	〃 ( )	予習: 工程分析作成	60
26週	〃 (パターン作成・裁断)	予習: 作業の確認	60
27週	〃 (縫製)	予習: 作業の確認	60
28週	〃 (縫製)	予習: 作業の確認	60
29週	〃 (縫製)	予習: 作業の確認	60
30週	〃 (縫製・作品提出・プレゼン発表)	予習: プレゼンの準備	60

## ◆フィードバックの方法

製図、工程分析、縫製仕様書、ポートフォリオ、作品等の課題はその都度、点検・採点後に返却します。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題(作品、プレゼンテーション、作品遅滞含む)	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

## ◆教科書

ドレメ式原型 PATTERN MAKING I、II SEWING I、II、III、IV 杉野学園

## ◆オフィスアワー

毎週: 火曜日(15:30~17:00) 5303教室(第5校舎3階)

## ◆参考文献

服飾用語辞典 Doreme NEW PATTERN BOOK サマーセミナーテキスト 杉野学園  
洋裁技術検定試験問題集 各種ファッション雑誌、必要に応じて資料を適宜配布

## ◆備考

・状況に応じて日程及び授業内容、作品・課題の返却時期は変更することもある。

# 立体構成（パターンメイキング&ドレーピング）実習Ⅱ

伊藤 佳代

高度アパレル専門科 2年 年間 10回 必修（実習・実技）

## ◆授業の方針・概要

担当教員のパタンナーとしての実務経験を活かした授業で、服作りの基礎となる考え方を身につけるため、立体と平面の両面から服の形の見方を学び、自由な発想を形にするための実習を行う。

## ◆到達目標（学修成果）

基本的な服の構造を理解し、イメージしたシルエットを形にすることができるようになることを目標とする。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目であり、進級に必要な科目。自由な発想を表現するための想像力と技術を学ぶ、重要な科目である。

## ◆授業計画

回数		授業内容	準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	原型	立体的裁断と原型について	予習：シーチングの地直し	30
2回	〃	前後身頃	復習：原型をパターンにとる、組み立てる	60
3回	〃	前後スカート、ウエスト接ぎ	予習：シーチングの地直し	30
4回	〃	印付け、パターンの取り方、ゆるみ入れ	復習：ゆるみ入り原型を組み立てる	60
5回	〃	身頃の組み立て、修正	復習：パターンにとる、組み立てる	60
6回	〃	袖のパターン作成と袖付け	予習：シーチングの地直し	30
7回	ブラウス	前後身頃のドレーピング	予習：シーチングの地直し	30
8回	〃	袖の作図、袖のドレーピング	復習：パターンにとる、組み立てる	60
9回	〃	シャツカラー	予習：シーチングの地直し	30
10回	〃	完成	復習：授業内容を整理し、まとめる	30

## ◆フィードバックの方法

毎回の授業内や課題のチェック時に評価(シルエットの見方、バランスなど)を伝える。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

- ・授業態度・姿勢、課題チェック日の遅滞、作品完成度を総合的に評価する。
- ・出席日数が2/3に満たない場合および提出物が未了の場合は再履修とする。

## ◆教科書

なし

## ◆オフィスアワー

毎週：火曜日（15：30～17：00）5303教室（第5校舎3階）

## ◆参考文献

なし

## ◆備考

授業内容は変更することもある。

# クリエイティブデザインⅡ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科2年 通年 必修(実習・実技)

## ◆授業の方針・概要

古代→中世→近世→近代→現代 と『衣』は『衣服』へと文化と密接に関わりながら変わり、現代の今においても『服』の持つ役割は様々な位置があるといえる。西洋の文化の発達と共に変化してきた服の歴史や、建築物やデザイン様式を通して自らのデザインワークへと繋げていく。また、後半は、デザイナー達が発表した代表的なシルエットを研究し、1冊のインスピレーションブックを完成させる。

この授業では服の歴史やデザインの歴史を紐解くことからはじめ、自分なりに再構築し全く新しいデザインへと繋げていく。

## ◆到達目標(学修成果)

表現方法としてのイラストレーション能力と創造性を高める。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目である。創造性及び企画力を身に付ける。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	図書館で資料を探す	復習: 図書館	30分
2回	テーマによるデザイン考案	復習: プロポーシオン	30分
3回	YKKコンテストのデザイン①	予習: 図書館	30分
4回	YKKコンテストデザイン②	予習: テーマ探し	60分
5回	●服装史からのデザイン～古代～	〃	60分
6回	●服装史からのデザイン～中世～	予習: 資料探し	30分
7回	★イラストレーション 細かいディテールの描き方	復習: ディテール描き方	30分
8回	★イラストレーション 模写	予習: 資料探し	30分
9回	コンテストのデザイン画①	復習: テーマ探し	30分
10回	コンテストのデザイン画②	予習: テーマ探し	30分
11回	コンテストのデザイン画③	予習: 〃	30分
12回	●服装史からのデザイン～近世～	予習: 図書館で資料探し	30分
13回	★スモッキング①	予習: 〃	30分
14回	〃 ②	予習: 〃	30分
15回	ファッション画コンテストのデザイン画	復習: 〃	30分
16回	〃	予習: 図書館で資料探し	30分
17回	〃	予習: 〃	30分
18回	●服装史からのデザイン～近代～	予習: 〃	30分
19回	★テキスタイルの表現方法①	予習: 〃	30分
20回	★ 〃	予習: 〃	30分
21回	★チェック柄のファッションイラストレーション	予習: 資料探し	30分
22回	★プリント柄のファッションイラストレーション	予習: 〃	30分
23回	★光るものや透ける者の描き方	予習: 〃	30分
24回	●服装史からのデザイン～現代～	予習: 〃	30分
25回	●60年代以降のデザイナーについて	予習: 〃	30分
26回	●70年代以降のファッション	予習: 〃	30分
27回	●デザイナー研究①	予習: 市場調査	30分
28回	● 〃 ②	予習: 〃	30分
29回	● 〃 ③	予習: 〃	30分
30回	まとめ		

## ◆フィードバックの方法

下書きの段階で一度チェックし、着彩方法、タッチなどその都度点検する、作品返却時に講評する。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

## ◆教科書

ファッション画法(渡辺波江、肉丸美香子著)、世界服飾史のすべてがわかる本

## ◆オフィスアワー

毎週: 月曜日(15:45～16:45) 5302教室(第5校舎3階)

## ◆参考文献

服飾用語辞典、最新のファッション雑誌など

## ◆備考

授業内容は変更することもある。

# ドローイング

杉山 尚子

高度アパレル専門科 2年 年間 20回 必修 (実習・実技)

## ◆授業の方針・概要

対象を正確に観て描き出す素描の技法の習得と、豊かで自由な発想を促すドローイングを学習する。  
さまざまな描画材料、用具の扱いと大きな画面になれるようにする。  
またコラージュ、人体、毛皮等の多様な手法やモチーフで表現方法を養う。

## ◆到達目標 (学修成果)

形、質感を具体的にとらえ、可視化できるようになる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

描く能力は、服飾造形に必要な創造的な発想を導き出す源となり、デザイン、制作に役立ち、テクスチャーへの理解が深まる。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	授業と描画材の説明 鉛筆デッサン 幾何形体	予習：画題画材の準備	15分
2回	布の表現 1 鉛筆デッサン	予習：画題画材の準備	15分
3回	布の表現 2 鉛筆デッサン	復習：作業の確認	10分
4回	学生クロッキー／有色下地	予習：画材の準備	10分
5回	水彩の技法 静物 1 水彩絵具とその技法についての説明	予習：画題画材の準備	15分
6回	水彩の技法 静物 2	復習：作業の確認	10分
7回	人体クロッキー	予習：画材の準備	10分
8回	質感の表現 有色下地	予習：画材の準備	10分
9回	木炭デッサンの描き方 石膏デッサン 木炭 1	予習：画材の準備	10分
10回	石膏デッサン 木炭 2	復習：作業の確認	15分
11回	石膏デッサン 木炭 3	復習：作業の確認	10分
12回	石膏デッサン 木炭 4	復習：作業の確認	10分
13回	花を描く	予習：画題画材の準備	15分
14回	質感の表現 1	予習：画材の準備	10分
15回	質感の表現 2	復習：作業の確認	10分
16回	コラージュ／フォトモンタージュ 1	予習：画材の準備	20分
17回	コラージュ／フォトモンタージュ 2	予習：画材の準備	10分
18回	人体クロッキー	予習：画材の準備	10分
19回	人体デッサン 1	予習：画材の準備	10分
20回	人体デッサン 2	復習：作業の確認	10分

## ◆フィードバックの方法

後期に作品の講評をする。課題の採点后、返却する。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

## ◆教科書

なし

## ◆参考文献

なし

## ◆オフィスアワー

授業終了後、実習室で質問等に対応する。

## ◆備考

毎時間クロッキーブックを用意すること。

# プレゼンテーションⅡ

赤川 順子

高度7レベル専門科2年 後期 必修 (演習)

## ◆授業の方針・概要

ファッションデザイナー、デザインディレクターとして企業実務経験者による授業。オリジナルブランドの立案、展開シーンを考えたデザイン考案、企画の意図をプレゼンテーション資料として仕上げ、修了制作とも関連付ける。講義、実習を組み合わせる。

## ◆到達目標（学修成果）

ブランディングに必要なマーケティング観点を意識した企画意図の考案、及び、伝えたい内容に即したストーリーを組み立ててプレゼンテーションすることの意識がもてるようになる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

修了のために必要とする科目。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	プレゼンテーションの本質、目的、ブランドとは何か	復習：マーケットリサーチ	60分
2回	ブランディングに必要なプランニングのコアの理解	予習：デザインリソース収集	30分
3回	ニーズとターゲットについて、イメージビジュアルの作成	予習：デザインリソース収集	30分
4回	ブランディングプランシートの作成	復習：デザイン考案、リソース収集	30分
5回	プレゼンの構成を作る	復習：デザイン考案、リソース収集	30分
6回	プレゼン資料作成、構成の確認	予習：デザイン考案	30分
7回	プレゼン資料作成	予習：デザイン考案	30分
8回	プレゼン資料作成	復習：素材リサーチ	30分
9回	提供価値の再確認、プレゼン資料作成	復習：デザイン考案	20分
10回	ストーリー作り、プレゼン資料作成	復習：資料作成	20分
11回	プレゼン資料作成、構成の再確認	復習：ストーリー手直し	20分
12回	プレゼン資料作成	復習：プレゼン資料手直し	30分
13回	プレゼン資料作成	予習：原稿考案	30分
14回	プレゼン資料、ストーリー・原稿確認	復習：プレゼン原稿手直し	30分
15回	講評	復習：成果物を見直す	20分

## ◆フィードバックの方法

制作物について進度に応じたアドバイス、フィードバックと、プレゼンの発表と制作資料について講評を行う。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画 (インターシップ)	—

## ◆教科書

無し

## ◆参考文献

無し

## ◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

## ◆備考

授業内容は変更することもある

# アパレルCGⅡ

戸井田 未来

高度7パル専門科2年 通年 必修 (演習)

## ◆授業の方針・概要

授業担当者のデザイナーとしての経験と実績を活かし、パソコンスキル・構成力を高める。

## ◆到達目標 (学修成果)

社会に通用するイラスト・構成力のある資料の作成を目指す。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

2年次修了に必要な科目。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション		
2回	ハンガーイラスト作成①	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
3回	ハンガーイラスト作成②	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
4回	ハンガーイラスト作成③	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
5回	ハンガーイラスト作成④	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
6回	ハンガーイラスト作成⑤	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
7回	ハンガーイラスト作成⑥	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
8回	ハンガーイラスト作成⑦	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
9回	ハンガーイラスト作成⑧	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
10回	ハンガーイラスト作成⑨	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
11回	ハンガーイラスト作成⑩	復習：ハンガーイラストの見直し	20分
12回	デザイン提案資料作成①	予習：マーケットリサーチ	60分
13回	デザイン提案資料作成②		
14回	デザイン提案資料作成③	予習：デザイン提案資料見直し	20分
15回	デザイン提案資料作成④		
16回	デザイン提案資料作成⑤		
17回	ブランドロゴデザイン①	予習：マーケットリサーチ	60分
18回	ブランドロゴデザイン②		
19回	ブランドロゴデザイン③		
20回	カラーレイアウト①		
21回	カラーレイアウト②		
22回	イメージカラーージュ作成①		
23回	イメージカラーージュ作成②		
24回	テキスタイルパターン作成①		
25回	テキスタイルパターン作成②		
26回	PowerPointでの資料作成①		
27回	PowerPointでの資料作成②		
28回	PowerPointでの資料作成③		
29回	プレゼン資料の修正		
30回	講評		

## ◆フィードバックの方法

作成した資料の講評

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	40%
試験	—
課題	60%
検定試験結果	—
企業計画(インターシップ)	—

## ◆教科書

なし

## ◆参考文献

なし

## ◆オフィスアワー

月曜日(12時00分～12時30分) 6201教室(第6校舎2階)

## ◆備考

授業内容は変更することもある

# アパレルCADⅡ

菊地 正哲

高度アパレル専門科2年 通年 必修 (演習)

## ◆授業の方針・概要

授業担当者のパタンナーとしての実務経験とパタンナーへの技術指導の実績を活かし、アパレルCADシステムの実践的な活用法を習得することを目指す。特にこれからのIT社会に対応したスキルを身につける為、パターンメイキングだけではなく、データ管理の方法と仕様書作成、及び3Dの基本的な操作の実習も行う。

## ◆到達目標 (学修成果)

アパレルCADシステムを使い、パターンメイキングの応用操作、グレーディング・マーキングの基本操作の習得を目標とする。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

3年に進級するための必要な科目。CADシステムの活用法を理解するための科目。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	身頃ダーツ展開 12種類	予習:展開方法を確認しておく。	10
2回	スカート シルエット原型 3種類	復習:項目、機能を整理する。	20
3回	スカート 3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
4回	スカート 工業用パターン作成	復習:裏地の展開確認しておく。	20
5回	スカート 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	20
6回	パンツ シルエット原型 3種類	復習:項目、機能を整理する。	20
7回	パンツ パターンメイキング	復習:項目、機能を整理する。	20
8回	パンツ 3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
9回	パンツ 工業用パターン作成	予習:ポケット等の仕様を確認しておく。	20
10回	パンツ 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	20
11回	ブラウス パターンメイキング①	復習:項目、機能を整理する。	20
12回	ブラウス パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
13回	ブラウス 3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
14回	ブラウス 工業用パターン作成	予習:襟の展開等を確認しておく。	10
15回	ブラウス 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	20
16回	ジャケット シルエット原型 3種類	復習:項目、機能を整理する。	20
17回	ジャケット 3面パターンメイキング①	復習:項目、機能を整理する。	20
18回	ジャケット 3面パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
19回	ジャケット 3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
20回	ジャケット 工業用パターン作成①	予習:襟の展開を確認しておく。	10
21回	ジャケット 工業用パターン作成②	予習:裏地の展開を確認しておく。	20
22回	ジャケット 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	20
23回	ジャケット 4面パターンメイキング	復習:項目、機能を整理する。	20
24回	ジャケット 3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
25回	ジャケット 工業用パターン作成	予習:裏地の展開を確認しておく。	20
26回	ジャケット 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	20
27回	グレーディング原理	復習:項目、機能を整理する。	30
28回	グレーディング実習	復習:項目、機能を整理する。	30
29回	マーキング実習	復習:項目、機能を整理する。	20
30回	まとめ	予習:作成資料を確認する。	30

## ◆フィードバックの方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
試験	30%
課題	50%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

## ◆教科書

PATTERN MAKING I・II・III 学校法人 杉野学園

## ◆参考文献

被服造形教育におけるデザイン・パターンデータベースの開発 杉野服飾大学

CREA COMPO II オペレーションマニュアル Toray Advanced Computer Solution INC

パターンメイキング技術検定試験ガイドブック 財団法人日本ファッション教育振興協会

## ◆オフィスアワー

金曜日(16時00分～17時00分) 6101教室(第六校舎1F CAD室)

## ◆備考

状況により内容変更有り。

# ファッションテキスタイル

赤澤 結花

高度アパレル専門科 2年 年間 10回 必修（実習・実技）

## ◆授業の方針・概要

ファッションテキスタイルでは、織物についての基礎知識を学ぶ。織物の基本である「三原組織」は紙を切って経糸と緯糸を作り、「平織」「綾織」「朱子織」を手で織ってみる。紙で織った組織と既製の布を分解鏡で見比べ、基本的な織り方の知識を深める。同様に「千鳥格子」「ヘリンボーン」「タータンチェック」も紙で織ることによって、織物によるストライプとチェックの特徴と変化組織についても学んでいく。また、実際に卓上織機でマフラーを織ることで、織物の仕組みを理解する。

## ◆到達目標（学修成果）

織物の基本を通して、アパレル素材の知識を深める

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材の知識を深めることは、より充実した作品制作とアパレル企業で働くことに役立つ。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	紙で織る三原組織 平織、綾織、朱子織	復習：既製の生地を見る	20
2回	紙で織る綾織の応用 千鳥格子、ヘリンボーン	復習：ヘリンボーンまで終わらせる	20
3回	〃 タータンチェック	復習：仕上げる	20
4回	マクラメ サンプル	復習：できるところまで進める	30
5回	応用 仕上げ	復習：仕上げる	20
6回	卓上織機でマフラーを織る 設計書の記入 整経	予習：タテ糸を用意する	60
7回	箆通し～綜統通し	予習：ヨコ糸を用意する	60
8回	巻取り 織付け ヨコ糸準備 試し織り	復習：できるところまで進める	30
9回	織布	復習：できるところまで進める	30
10回	糸の始末 仕上げ	復習：仕上げる	30

## ◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評をする。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

## ◆教科書

必要に応じてプリントを配布

## ◆オフィスアワー

毎週：月曜日（16時00分～17時00分）5201教室（第5校舎2階）

## ◆参考文献

テキスタイル用語辞典 成田典子著 （株）テキスタイル・ツリー

## ◆備考

授業内容は変更することもある。

# パターンメイキング演習 I

伊藤 佳代

高度アパレル専門科 2年 前期集中 必修 (演習)

## ◆授業の方針・概要

パターンメイキング技術検定試験対策の授業である。パターンメイキング技術検定試験 3級ガイドブックの内容を理解し、ファッション業界の基礎知識・技術と、パターンメイキングに関する基礎知識・技術等を習得する。受験対策として、繰り返し模擬試験を行う。担当教員のパタンナーとしての実務経験を活かし指導を行う。

## ◆到達目標 (学修成果)

パターンメイキング技術検定試験 3級の修得を目標とする。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため、卒業に必要な科目です。既製服の概念としての基礎知識を理論的に理解し、ファーストパターンから工業パターンに関する専門知識と技術を向上させる。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ファーストパターンメイキング、工業パターンメイキングについて	予習：ガイドブック確認	30
2回	グレーディング、素材とパターンメイキングについて	予習：ガイドブック確認	30
3回	筆記試験対策① (理論模擬試験)	復習：模擬試験の解答	30
4回	筆記試験対策② (理論模擬試験)	復習：模擬試験の解答	30
5回	筆記試験対策③ (理論模擬試験)	復習：模擬試験の解答	30
6回	筆記試験対策④ (理論模擬試験)	復習：模擬試験の解答	30
7回	実技試験対策①	予習：シーチング地直し	30
8回	実技試験対策②	予習：シーチング地直し	30
9回	実技試験対策③	予習：シーチング地直し	30
10回	実技試験対策④	予習：シーチング地直し	30

## ◆フィードバックの方法

授業内で模擬試験の解答、解説を行う。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	60%
検定試験結果	10%
企業評価 (インターシップ)	—

・授業の取り組み、作品の完成度等により総合的に評価する。

## ◆教科書

なし

## ◆オフィスアワー

毎週：火曜日(15:30~17:00) 第5校舎 3階 5303教室

## ◆参考文献

パターンメイキング技術検定試験 3級ガイドブック

## ◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。

**染色実習**

鎌田 美恵

高度アパレル専門科2年 年間10回 必修（実習・実技）

**◆授業の方針・概要**

ファッションを構成する要素の一つである色。それは同じ素材、同じデザインの洋服でも色の違いによりかなり印象が変わる。その色を染め着ける染色は、繊維・糸・生地や縫製後の製品の各々の段階で行われている。

染色の基本に基づいたワークショップを指導してきた授業担当者の経験を活かし、この授業では身近な製品のハンカチ・Tシャツ・コースター・エコバックを草木染や化学染料を用いて、絞り染・タイダイ染・捺染・ステンシルの技法や専用生地でおパール加工処理のなどの実習を行い、染色技法を修得する。またその技法に合ったデザインの考案や調色方法の他、前処理（ムラなくきれいに染めるため）や後処理（堅牢度を高める）など一連の染色工程を学修する。実習を通して繊維と染料の関係、各染料による染法、染料と顔料の違いなど基本的知識も修得する。

**◆到達目標（学修成果）**

染色の技術や知識を得て理解を深めることにより、服飾造形に活かせるクリエイション力や応用力を高めることができる。

**◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連**

必修科目のため卒業に必要な科目である。修得した基本的な染色技法や知識を作品制作に繋げる。

**◆授業計画**

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション 染色について	復習：プリント再読	10
2回	絞り染(ハンカチ)／スレン染料	予習：染色方法調査	20
3回	↓	復習：作業の確認	15
4回	タイダイ染(Tシャツ)／反応染料	予習：染色方法調査	30
5回	草木染と型紙捺染(コースター)／植物染料 直接染料	予習：染色方法調査	30
6回	↓	予習：図案考案	30
7回	↓	復習：作業の確認	15
8回	ステンシル(エコバッグ)／顔料	予習：図案考案	30
9回	↓	予習：色彩計画	30
10回	オパール加工／直接染料	予習：染色方法調査	30

**◆フィードバックの方法**

課題作品は評価した後、速やかに返却する。

**◆成績評価の方法・基準**

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

**◆教科書**

なし

**◆参考文献**

新版 染色加工学 越川寿一編 酒井書店・育英堂  
 絞り染め大全 安藤宏子 誠文堂 新光社  
 染色の基礎知識 合成染料の技法 染織と生活社  
 新版 草木染 四季の自然を染める 山崎和樹 山と溪谷社  
 よしおか工房に学ぶ はじめての植物染め 監修 吉岡幸雄 染司よしおか工房 紫紅社

**◆オフィスアワー**

授業終了後、質問などに対応いたします。

**◆備考**

授業内容は変更することがある。

## 色彩論Ⅱ

桑野 恵美

高度アパレル専門科2年 年間8回 必修(講義) / 服飾造形科2年・アパレル技術科2年 年間8回 選択(講義)

### ◆授業の方針・概要

色彩の基礎を理解した上でのファッション業界での色彩の応用力を講義と演習で学習する。  
授業担当者は、各分野に落とし込んだ色彩提案を行う、カラーコンサルタント会社での実務を通じて感性に頼った色の考え方ではなく、客観的な視点でビジネスに通用する色の考え方や手法についての理解を目指す。

### ◆到達目標(学修成果)

ファッション色彩能力検定試験2級(1月実施予定)の受験を前提とし、合格を目標とする。  
ファッション業界の企画から流通にいたるまでの実務で、目的に合った効果的な色選びができる知識の習得を目指す。

### ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

色彩学Ⅱは、ファッション業界での色彩実務が学べ、それを活用していくことができる専門力向上に資する科目です。

### ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	色名/光と色	色名の効果/光による色の見え方 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
2回	照明による色の再現性/配色技法①(流行配色)	照明による色の見え方の違い/配色技法①とその効果 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
3回	色覚・色彩の知覚的効果/配色技法②(流行配色・その他の配色)	視覚と色の知覚的効果/配色技法②とその効果 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
4回	色の表示/色見本とカラーコード/調和の技術	色の表示の目的と意味 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
5回	色彩調和論/配色の応用	色彩調和論とその応用 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
6回	ファッションイメージとカラーコーディネーション ファッション産業における色彩計画①	イメージ配色/商品企画/生産段階における色彩 復習:テキストを読む/該当ページの問題を解く	60分
7回	ファッション産業における色彩計画②	VMD/パーソナルカラー 過去問題を解き、自分のウィークポイントを把握する	120分
8回	過去問題のフィードバック/総復習	苦手な箇所を本文で確認する 問題集を繰り返し解く	120分

### ◆フィードバックの方法

- ・過去問題はポイント箇所を中心に解説を行います。問題集は、必要であれば解説を行います。
- ・カラーワークの課題について集めた場合は、個々にコメントを入れて返却しますが、同時に全体に向けての講評をします。

### ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	30%
検定試験結果	40%
企業計画(インターシップ)	—

### ◆教科書

「ファッション色彩[Ⅱ]」 財団法人 日本ファッション教育振興協会  
「ファッション色彩能力検定試験2級問題集」 財団法人 日本ファッション教育振興協会

### ◆参考文献

適宜アナウンスします。

### ◆オフィスアワー

授業前後の時間で質問等対応します。

### ◆備考

教科書、問題集、配色カード(1年次使用)、はさみ、のりは毎回、準備してください。  
各回の授業の順番・内容は変更になる場合があります。

**特別講義Ⅱ**  
伊藤 佳代

高度アパレル専門科2年 集中 必修（講義）

◆**授業の方針・概要**

年間を通して、ファッション業界で活躍するスペシャリストを招き、ファッション業界の現状から最新のトレンドや企画立案、技術的な部分までの講義を開き、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。知識向上と業界人が考える物作りの考え方を修得する。

◆**到達目標（学修成果）**

服飾造形Ⅱの授業と連携しながら、学内では学べないファッション業界の現場を知ること、今学んでいる事の重要性を感じ自己の知識向上を目的とする。

◆**卒業認定の方針と該当授業科目の関連**

必修科目のため、2年次修了に必要な科目です。将来の就職に向けて仕事を理解するために必要となります。

◆**授業計画**

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	WWDトレンドセミナー	復習：レポート	30
2回	現代ファッションの歴史	復習：レポート	30
3回	クリエイティブなデザインの考え方	復習：レポート	30
4回	副資材について（YKKセミナー）	復習：レポート	30
5回	日本毛皮協会講習「素材加工セミナー」	復習：レポート	30
6回	サステイナブルについて	復習：レポート	30
7回	アメリカ最新事情	復習：レポート	30
8回	ニューヨークコレクショントレンドセミナー	復習：レポート	30

◆**フィードバックの方法**

講義ごと聴講した後にレポートを提出させ、点検して返却する。

◆**成績評価の方法・基準**

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

・授業態度、提出物等を総合的に評価する。

◆**教科書**

なし

◆**オフィスアワー**

授業終了後、質問等に対応する。

◆**参考文献**

必要に応じて資料を配布する。

◆**備考**

外部講師による授業なので、内容や時間等は先生により変更することもある。

# 服飾造形・実習Ⅱ（キャリアプランニング）

就職部・伊藤 佳代

高度アパレル専門科2年 年間15回 必修（講義）

## ◆授業の方針・概要

就職活動は、単に会社を探し仕事に就くといった作業をするわけではない。自分と向き合い、社会の情報を集め、将来どのようなキャリアを形成していくかについて考え、行動することである。短期的な視点ではなく、将来にわたって自分の目指すゴールはどこなのか、自分のやりたいことは何か、どんな人生にしたいのか、長期的に考えていくことが重要、かつ必要なことである。キャリアデザイン成果の基本的な考え方や就職活動の流れを理解し、より良い職業選択ができるよう学習する。

## ◆到達目標（学修成果）

- ①「社会」や「働く」とは何か、「キャリアデザイン」とは何かについて理解する。
- ②雇用環境の現状を理解し、自己分析を通じて自らのキャリアをデザインする力を身につけることができる。
- ③就職活動の準備を通じて、社会で働くために必要な能力を身につけることができる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

この科目は進級要件単位の必修科目です。社会人基礎力とビジネス基礎知識の向上に資する科目。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	【オリエンテーション】 就職活動の流れを理解し、キャリアデザインを考えてみる。	予習：自分の将来について考えてくる。 復習：キャリアデザインに関するレポート作成	90分
2回	【業界・企業研究①】－雇用と労働市場－ 新卒の雇用と労働市場を理解し、社会が求める人材について考える。	予習：社会人に求められることについて考えてくる。 復習：学生と社会人の違いについてレポート作成。	90分
3回	【業界・企業研究②】－産業と職業－ 社会の中にある働く場（産業）と働き方（職業）について学ぶ。	予習：将来、目指している仕事について考えてくる。 復習：産業と職業に関するレポート作成。	90分
4回	【業界・企業研究③】－業界・企業研究の基本－ 業界・企業を研究するための情報収集、比較検討のしかたを学ぶ。	予習：アパレル業界・企業について調べてくる。 復習：業界・企業に関するレポート作成。	90分
5回	【業界・企業研究④】－業界・企業研究の基本－ 業界・企業を研究するための情報収集、比較検討のしかたを学ぶ。	予習：業界・企業研究に関する資料を読む。 復習：企業研究に関するレポート作成。	90分
6回	【自己分析とは①】 就職活動と自己分析の関係性について学ぶ。	予習：自己分析に関するワークに取り組む。 復習：自分史を作成。	90分
7回	【自己分析とは②】 自己分析の方法について学ぶ。	予習：自己分析に関するワークに取り組む。 復習：自分のアピールポイントに関するレポート作成。	90分
8回	【自己PR①】－文章で自分をアピールする方法－ エントリーシートの持つ意味・種類、作成のポイントを学ぶ。	予習：自分のアピールポイントについて考えてくる。 復習：自分の基本情報に関するワークシートを作成。	90分
9回	【自己PR②】－文章で自分をアピールする方法－ 自己PRとガクチカの文章作成方法について学ぶ。	予習：自分の自己PRとガクチカについて考えてくる。 復習：自己PRとガクチカに関するレポート作成。	90分
10回	【志望動機①】－文章で自分をアピールする方法－ 志望動機の文章作成方法について学ぶ。	予習：自分が志望する企業を考えてくる。 復習：志望動機に関するワークシートを作成。	90分
11回	【志望動機②】－文章で自分をアピールする方法－ 志望動機の文章作成方法について学ぶ。	予習：自分が志望する企業を研究してくる。 復習：志望動機に関するレポートを作成。	90分
12回	【面接①】－言葉で自分をアピールする方法－ 面接の持つ意味・種類、アピール方法について学ぶ。	予習：自己紹介を考えてくる。 復習：面接に関するレポートを作成。	90分
13回	【面接②】－言葉で自分をアピールする方法－ グループディスカッションの方法について学ぶ。	予習：グループディスカッションについて調べてくる。 復習：グループディスカッションに関するレポート作成。	90分
14回	【まとめ】就職活動の流れについて－業界・企業研究－	予習：13回までに配布した資料を復習してくる。 復習：志望する企業にエントリーをする。	90分
15回	【まとめ】就職活動の流れについて－書類・マナー・面接－	予習：14回までに配布した資料を復習してくる。 復習：学んだことをもとに就職活動の準備をすすめる。	30分

## ◆フィードバック方法

授業課題（レポートなど）については、授業内にフィードバックする。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

## ◆教科書

授業で必要とする資料は、適宜小冊子やプリントなどで配布する。

## ◆参考文献

授業中に適宜紹介する。

## ◆オフィスアワー

就職課 月曜-金曜 9:00-17:00

## ◆備考

就職活動に関する個別の相談を希望される方は、就職課で面談予約を取ってください。授業時間外になります。

# インターンシップ

伊藤 佳代

高度アパレル専門科2年 集中 必修 (実習・実技)

## ◆授業の方針・概要

インターンシップ（就労体験）を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができる。

## ◆到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とする。

## ◆卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目である。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション：研修の心得とマナー等について ・企業人事の講義「企業が望むインターンシップ」	予習：企業について研究する。	90分
2回	面談：研修先企業や職種について面談	復習：研修先について検討する。	60分
3回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
14回	事後報告：報告書、研修日誌のまとめ	復習：研修日誌を書き、報告書をまとめる。	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会での発表（学修成果と得られた技術を含む）および講評を行う。	復習：報告会での講評を振り返る。	30分

## ◆フィードバックの方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、最終報告書提出の講評、報告会による講評を当日その都度フィードバックする。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
試験	—
課題	30%
検定試験結果	—
企業評価（インターンシップ）	60%

## ◆教科書

なし

## ◆参考文献

なし

## ◆オフィスアワー

授業初日に伝達。就職部

## ◆備考

実務時期、期間：2年生または3年生で8日から10日相当（評価は3年次）

研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。

実施期間等は変更になる事もある

## 中国語会話

盧 繁華

高度7パル専門科2年 後期 必修（講義）／服飾造形科2年・ファッションビジネス科2年・7パル技術科2年 後期 選択（講義）

## ◆授業の方針・概要

まずは中国語の「発話」から学習します。正確な発音や中国語式スペリングをしっかりと覚えてから、文の構造及び基礎文法文型と慣用語句を学びます。聴く、話す、書くという形式で授業を進めます。

## ◆到達目標（学修成果）

話せる、聞き取れる中国語会話力を身につけることと日中翻訳もできる目標とします。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目ではありませんが、職場にて必要な場合に対応できる一つの語学技能となります。

## ◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	第1課 発話訓練キャンプⅠ 母音類 中国語のスペリングのしくみ	第1課の母音類の発声練習	20分
2回	第2課 発話訓練キャンプⅡ 子音類 スペリングの表記法	第2課の子音類の発声練習	20分
3回	第3課 発話訓練キャンプⅢ 何月何日？ / 何時？	第3課の数、月日・曜日、時刻	30分
4回	第3課Ⅱ 第4課Ⅰ お名前は？ / どちらの学校？	第4課の人称名詞、「是」の構文	30分
5回	第4課Ⅱ 第5課Ⅰ だれ？ / なに？ / これは～です	第5課の動詞の文、疑問詞の種類	30分
6回	第5課Ⅱ 第6課Ⅰ いる / ある /	第6課の指示代名詞Ⅰ、「有」の文	30分
7回	第6課Ⅱ 第7課Ⅰ どこにいる？ / AそれともB？	第7課の指示代名詞Ⅱ、「在」の文	30分
8回	第7課Ⅱ 第8課Ⅰ どれくらいかかる？ / ～するのが好きです	第8課の形容詞の文、前置詞	30分
9回	第8課Ⅱ 第9課Ⅰ いくら？ / Aよりも～です？	第9課の比較文、手段方法の表現	30分
10回	第9課Ⅱ 第10課Ⅰ ～したい / どこで？	第10課の助動詞使い方、過去形	30分
11回	第10課Ⅱ 第11課Ⅰ ～できる？ / ～していい？	第11課の助動詞の各種の表現	30分
12回	第11課Ⅱ 第12課Ⅰ ～している / ～したことがある	第12課の動詞の各種の進行形	30分
13回	第12課Ⅱ 総合会話のまとめ	常用品詞と慣用語の復習、ドリル	30分
14回	総合文法のまとめ	基本文法・文型復習、ペーパー	30分
15回	確認筆記テスト	セルフチェック	60分

## ◆フィードバックの方法

授業内と授業外の指定練習課題があり毎回提出し、期末に総合まとめて成績評価とします。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	30%
課題	40%
検定試験結果	—
企業評価（インターンシップ）	—

## ◆教科書

『はじめよう楽々中国語』（白水社）

## ◆参考文献

学内の図書館にある『日中辞典』や週刊新聞の『中文導報』等を利用します。

## ◆オフィスアワー

毎週木曜日 13:00～17:00 までの時間帯は大学研究棟の6030号室にいます。

## ◆備考

なし

# ビジネスコンピュータ（応用）

齋藤 宣

服飾造形科2年／ファッションビジネス科2年／アパレル技術科2年／高度アパレル専門科2年 前期 選択（演習）

## ◆授業の方針・概要

ビジネスにおいてコンピューターは必要不可欠である。ビジネスソフトの中でも Microsoft Office 系アプリケーションソフト（Word・Excel・PowerPoint）は各種業界の中でも特に使われている。基礎を勉強することで様々なツールの使い方を理解し、プレゼンテーションや提出資料がより分かり易く、伝わりやすい資料作成ができるよう実践していく。

## ◆到達目標（学修成果）

Microsoft Office 系アプリケーションソフトを理解し、資料作成するための操作ができるようになる。

## ◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目でない。社会人に必須な PC スキルの基本を身に付ける科目である。

## ◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	Word	基本の復習	予習：Word 基本操作	10分
2回		Word 作品制作（フライヤー）①	予習：フライヤーについて調べる	10分
3回		Word 作品制作（フライヤー）②	復習：作業	10分
4回		Word 作品制作（フライヤー）③	復習：excel ホーム画面の確認	10分
5回	Excel	基本の復習	予習：Excel 基本操作	10分
6回		関数① 関数について	復習：操作確認	10分
7回		関数② 統計	復習：操作確認	10分
8回		関数③ 日付・時刻・文字操作	復習：操作確認	10分
9回		関数④ 論理	復習：操作確認	10分
10回		関数⑤ 情報・検索	復習：操作確認	10分
11回	PowerPoint	アニメーションの設定・動画挿入	復習：操作確認	10分
12回		PowerPoint 作品作成①	復習：作業	15分
13回		PowerPoint 作品作成②	復習：作業	15分
14回		PowerPoint 作品作成③	復習：作業	15分
15回		PowerPoint 作品作成④プレゼンテーション	予習：プレゼン原稿考える	15分

## ◆フィードバックの方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。

## ◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

## ◆教科書

なし

## ◆参考文献

エクセル&ワード&パワポ+エクセル関数 基本&便利ワザまるわかり（GAKKEN COMPUTER MOOK）

## ◆オフィスアワー

毎週：火曜日（16時00分～17時00分）本校舎3階1036教室

## ◆備考

日程及び授業内容は変更することもある。